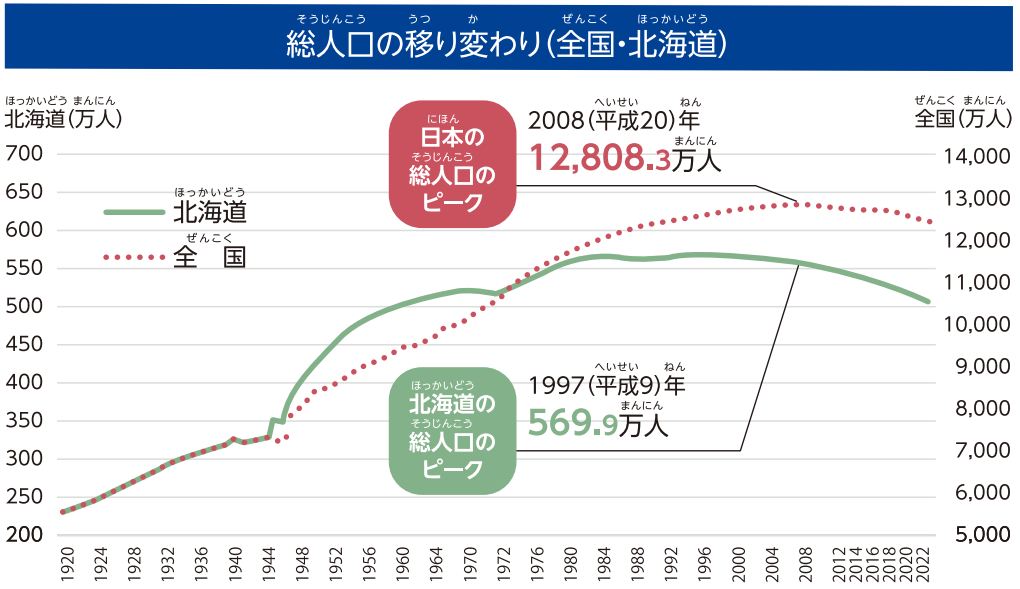
# Q 北海道の人口はいつから減っているの？

## A 約30年前をピークに減り続けています。

北海道の人口は、1997年（平成7年）に約570万人になりました。
今から28年前です。

しかし、そこをピークにずっと減り続けており、今から2年前の2023年（令和5年）には約60万人減って509万人になりました。
これは全道すべての高校生の数（約10万人）の6倍にあたります。
日本全体では2008年（平成20年）に約1億2,800万人となり、
そこをピークに減り続けています。

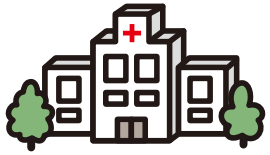



出典：総務省「国勢調査」「人口推計」

# Q 人口が減り続けると、どんな問題がありますか？

## A 街の元気がなくなり、みんなの生活に必要なサービスが少なくなる心配があります。

人口減少は、さまざまな社会問題と結びついています。例えば、人口が減ることによって生産活動や消費が小さくなり、経済力が低下するおそれがあります。また、働く人が減ることによって、医療や福祉、行政サービスの人材不足が起き、サービスを受けられなくなることもあります。



**お店や病院など必要なサービスが少なくなる心配がある。**

利用する人や働く人が減ると、これまであったサービスを、これまで通り受けることができなくなる可能性があります。

**医療や年金、介護の負担が増える。**

少子化や高齢化により、働く人の数が減ります。その結果、少ない人数で多くのお年寄りを支えなくてはならなくなります。

**空き家、空き店舗などが増えるとさまざまな管理がむずかしくなる。**

道路や水道、電気などの維持がむずかしくなります。

# Q 若い人が北海道を出ていく理由は何ですか？

## A 進学や仕事のために東京の方へ引っ越してしまうことが続いているからです。

北海道では、海外から移り住む人が増え、
いろいろな考えや個性を持つ生き方が
広がっています。
そんな中、特に若い人たちが進学
（大学・専門学校など）や仕事をするために、
東京の方へ引っ越してしまうことが
多くなっていることが、ひとつの理由です。

# Q ずっと住み続けられる地域のために北海道が行っていることは?

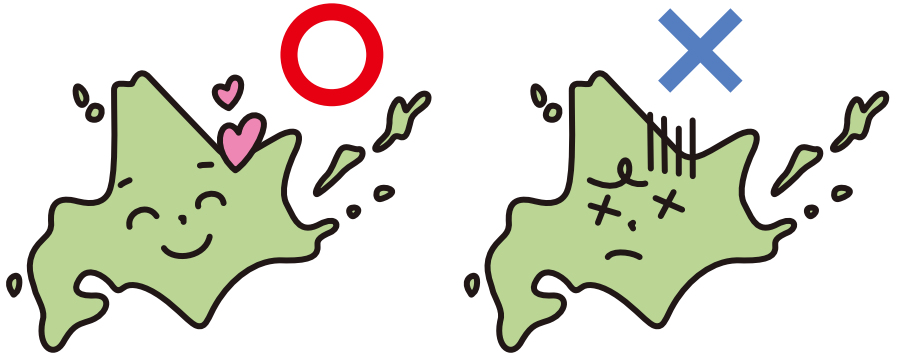
## A 「北海道創生総合戦略」をつくり、人口減少問題への対応を進めています。

「北海道創生総合戦略」とは、北海道をもっと元気にして、これからも人々が安心して住み続けられるようにするための、大きな計画のことです。
国は「人口減少が続く地方を守るため、『女性や若者にも選ばれる地方(=新しい地方・楽しい地方)』をつくる」と言っています。

# みなさんに聞きたいこと

## Q1

あなたが住んでいる街の好きなところは何ですか?

## Q2

あなたは北海道(いま住んでいる街以外も含む)に住み続けたいと思いますか?
住み続けたい／住み続けたくないと思う理由を教えてください。